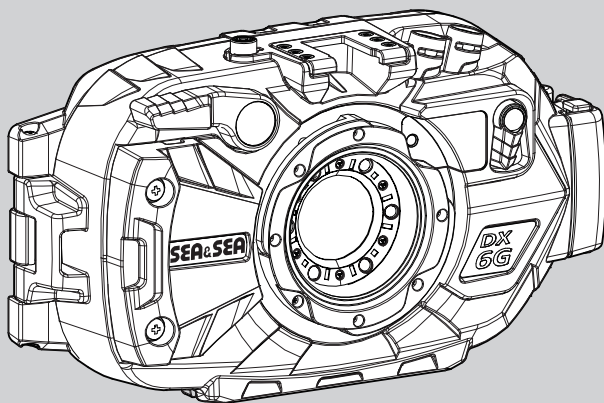


# SEA&SEA

JP 06666  
US 06667  
EU 06668

## CAMERA/HOUSING SYSTEM

# DX-6G



# 取扱説明書 Instruction Manual

日本語

English

## はじめに

この度は、シーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みにになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みいただいた後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### お知らせ

本製品は、シーアンドシー耐圧検査基準に基づいた検査に合格しています。

本製品の外観に若干の色味の差、または筋状のもの（ウエルドライン）が見える場合がありますが、製品の品質・性能上問題はありませので安心してご使用ください。

## 目次

安全上のご注意 .....	J-2
Oリングの取り扱いに関するご注意.....	J-4
同梱品を確認しましょう.....	J-6
各部の名称.....	J-7
裏蓋の開け方.....	J-8
6Gカメラのハウジングへのセット方法.....	J-9
各部の操作.....	J-11
ハンドストラップ.....	J-12
マクロディフューザー.....	J-12
外部ストロボを使用する.....	J-13
オプションアクセサリーの取り付け.....	J-14
ワイドコンバージョンレンズ.....	J-14
アクセサリースュー／カメラトレイ+グリップ・グリップステーS.....	J-15
レンズ付遮光フード .....	J-16
OZO (乾燥剤) .....	J-16
お手入れと保管上のご注意.....	J-17
仕様.....	J-18

## 安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をお読みにになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

**⚠ 警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**⚠ 注意** 取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

### ⚠ 警告

- 本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

### ⚠ 注意

- ご使用の前に必ずカメラ本体の取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- 本製品の耐圧深度は55mです。水深55m以上の水中でご使用になると、浸水や故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品を絶対に分解・加工・改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解・加工・改造品の浸水・破損等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
- 煙が出たり、変な音やにおいがするときは、ただちに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- 万一、浸水が起きた場合は、ただちに電源を切りすぐに使用を中止してください。
- 浸水しているときは、内部の圧力が高くなることがあります。本体ケースを開けるときの水が吹き出したり、本体ケースが跳ね上がったことがあるのでご注意ください。ケガの原因になります。
- 本製品は気密構造となっておりますので、密閉した状態で航空機などで運搬した場合、内外の気圧差が生じることがあります。本体を密閉しない状態（ポート類ははずすなど）で運搬してください。
- 水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品を開閉しないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。

- 本製品を落したり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- ストロボ・ライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- 本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
- カメラをハウジングに入れて使用すると、ダイヤル・ギア等との摩擦により、カメラにキズがつく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ポートやファインダーなどのガラス/プラスチック面にキズがつかないように十分にご注意ください。
- ポートやファインダーなどのガラス/プラスチック面は、キズがつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがあります。
- ご使用後は、防水されている状態で、必ず真水で洗ってください（詳しくは「お手入れと保管上のご注意」(P.J-19)をご覧ください）。
- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は異常に高温になりますので絶対に放置しないでください。本製品はプラスチックを一部使用しておりますので、熱で変形し内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置しますと、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水の原因となったり、また結露を生じる場合があります。
- 水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ナフタリンや樟腦の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- 本製品のご使用上において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリー等の交換・補償はいたしかねます。
- 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- Oリングの取り扱いにつきましては、Oリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。
- 本製品に付属しているシリコングリスは食べられません。

## Oリングの取り扱いに関するご注意

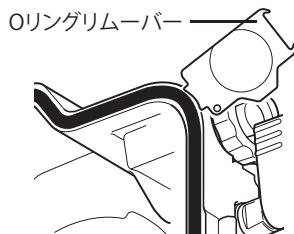
本製品はOリングで防水を保っています。Oリングの機能を十分に生かすため、以下にご注意ください。取り扱いが不適切だと浸水の原因になります。

### ⚠ 注意

- 弊社製品は青色のOリングを使用しています。このOリングは特殊な加工により、シリコンオイルを内部に閉じこめてあります。徐々にシリコンオイルが内部よりしみ出してある程度の間、潤滑効果が持続します。
- このOリングのお手入れには、必ず、弊社製純正シリコングリス（青色Oリング用O-RING GREASE:文字、キャップが青色のもの）をご使用ください。他社製のシリコングリスを使用されると、青色Oリングの特殊な性質により塗られたグリスを吸い込んでしまい、逆にグリス切れの状態になってしまいます。一度でもこの状態になるとOリングは元には戻りませんので、必ず交換してください。
- グリス切れの状態では、Oリングが滑らず防水部分の開閉が固くなります。それにより、開閉ができないことや浸水の原因となることもありますので、グリス切れのままでの使用は避けてください。

## Oリングにキズやヒビ割れはありませんか？

キズ、ヒビ割れがないことを確認してください。もしある場合は、直ちに新しいOリングと交換してください。Oリングを取り扱う際、金属製の尖ったものはキズがつくことがありますので、使用しないでください。付属のOリングリムーバー（O-RING REMOVER）のご使用をおすすめします。

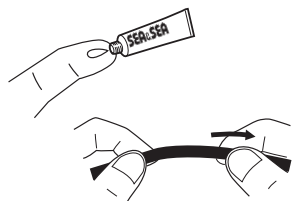


## ゴミや砂、毛髪に注意してください

Oリング、Oリング溝、Oリング接触面にゴミや砂、毛髪などが付いていないことを確認してください。それらが付着している場合は、完全に取り除いてください。そのまま使用になると、浸水の原因になります。

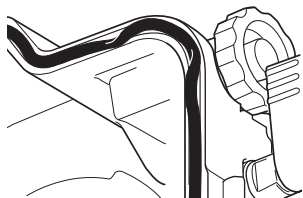
### シリコングリスを塗ってください

シリコングリスは、Oリングの摩擦を防ぎます。Oリングにキズやゴミ、ホコリなどがないことを確認後、シリコングリスを指先でOリング全体に薄く塗ってください。多すぎるとゴミやホコリが付着しやすくなり、浸水の原因になります。



### Oリングをねじらないでください

Oリングを溝に装着する際、ねじらないようまっすぐにに入れてください。



### Oリングは毎回はずしてチェックしてください

毎回Oリングをはずして、Oリングや溝、Oリングの接触面等をチェックすることを原則とします。Oリングをはずさないと、Oリング溝の奥に入り込んだ砂やゴミが発見できないからです。ご使用前のメンテナンスは、必ずOリングをはずしておこなうことをおすすめします。

### 保管方法に注意してください

予備のOリング、またははずしたOリングを保管する場合、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。また保管の際、Oリングに重いものをのせたり、Oリングを折り曲げたりしないでください。

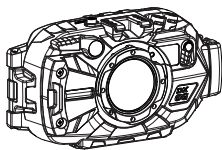
### Oリングの耐久年数は1年です

お手入れの状態、使用回数、保存状態などにより異なりますが、基本的にOリングの耐久年数は1年です。使用前に点検し、早めの交換をおすすめします。

## 同梱品を確認しましょう

本製品をご使用いただく前に、すべての同梱品が入っていることをご確認ください。

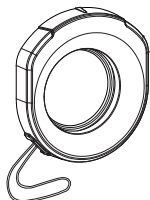
DX-6G



6Gカメラ



マクロディフューザー  
※ストラップ付



ハウジング用ハンドストラップ



充電用電源アダプター



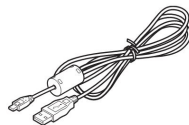
充電式リチウムイオン  
バッテリー



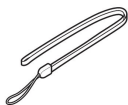
マクロスタンド



USBケーブル



カメラ用ストラップ



シリコングリス



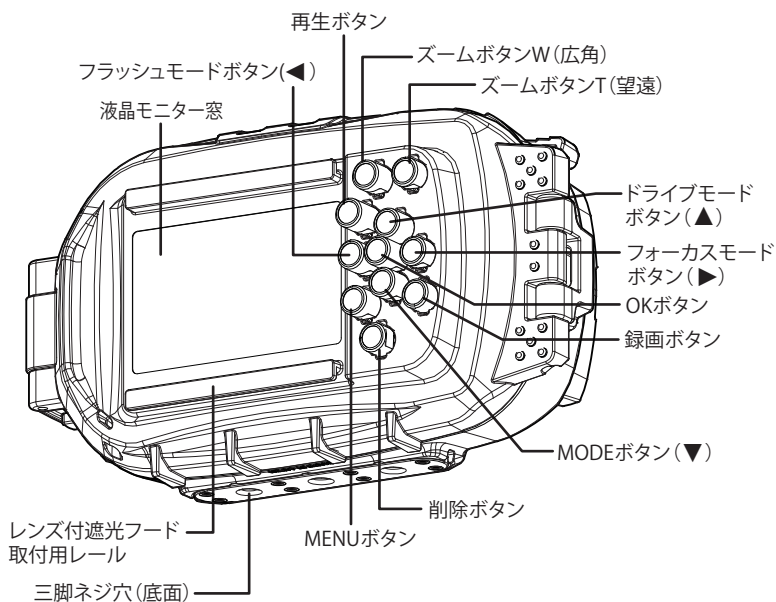
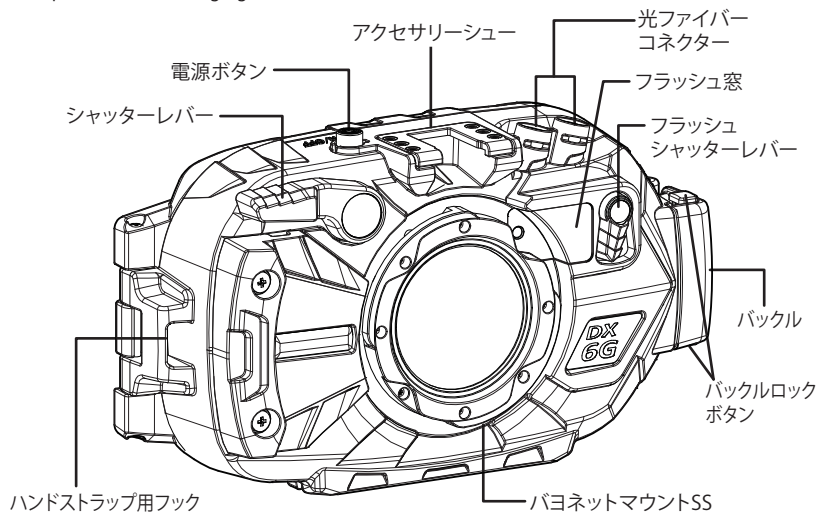
Oリングリムーバー



- DX-6G取扱説明書
- Oリングメンテナンスマニュアル
- 防水についての注意
- 保証書

# 各部の名称

- 6Gカメラの各部の名称は、WG-50カメラの取扱説明書をご覧ください。  
<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>

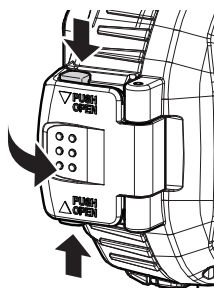




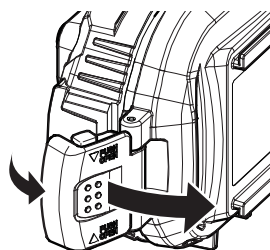
## 裏蓋の開け方

- 1 DX-6G左側面の上下2箇所のバックルロックボタン(赤色)を、同時に押しながらバックルを後方に引き起こす

- 裏蓋が持ち上がります



- 2 裏蓋を後方に引っ張り、裏蓋を開く



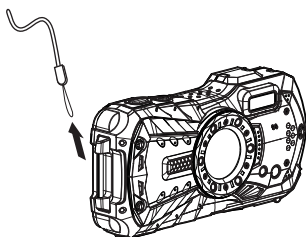
### ⚠ 注意

- 裏蓋を開ける前に、本製品が完全に乾いているか、また汚れていないかを確認してください。汚れているときは必ず真水で洗い、乾いた布で水分を良く拭き取ってから開けてください。
- 絶対にバックルロックボタン・バックルを水中で操作しないでください。
- 水中での使用後に裏蓋を開けるときは、残った水滴や砂などが内部に入らないよう、十分にご注意ください。

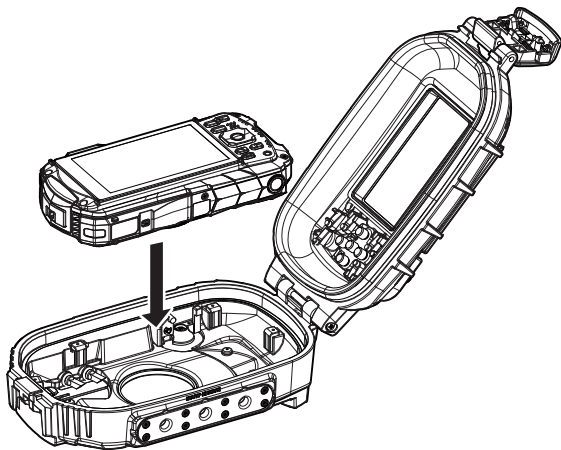
# 6Gカメラのハウジングへのセット方法

## ⚠ 注意

- 6Gカメラは防水カメラ(14m)ですが、濡れたカメラを乾燥させてからハウジングにセットしても、カメラの隙間などに残った水分の影響でハウジング内面に結露が発生し、ガラスが曇って撮影できなくなる場合があります。カメラを濡らした場合は乾いたタオル等でふき取り、24時間以上日のあたらぬ涼しい場所で乾かしてからハウジングにセットしてください。
- 6Gカメラのリストストラップを挟み込んで浸水を起こす可能性があります。カメラをセットする際は、リストストラップを取りはずしてください。

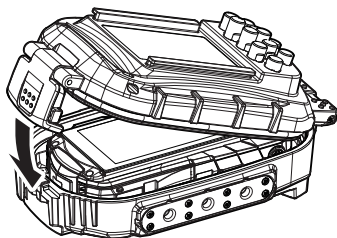


- 1 6Gカメラの電源をOFFにして、図のように6Gカメラを本製品にセットする

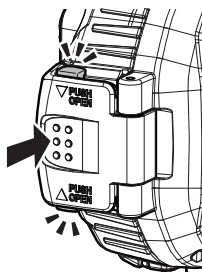


- セットした6Gカメラが本製品に対して大きく傾いていないことを確認してください。

- 2 ストラップの挟み込みや、OリングおよびOリング接触面にゴミや傷・変形などがないことを確認してから裏蓋を閉じ、バックルを前方に倒す



- 3 バックルを図の矢印の方向にカチッと音がするまで押し込み、上下の赤いバックルロックボタンがバックルから飛び出していることを確認する

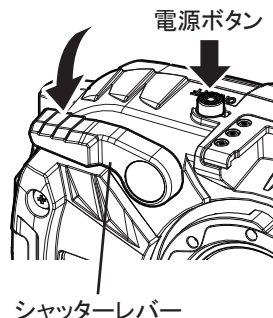


# 各部の操作

- 6Gカメラの各部の操作は、WG-50カメラの取扱説明書をご覧ください。  
<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>

## 電源ボタン

電源ボタンを押すと、6Gカメラの電源が入ります。  
電源が入った状態で電源ボタンを押すと、6Gカメラの電源が切れます。

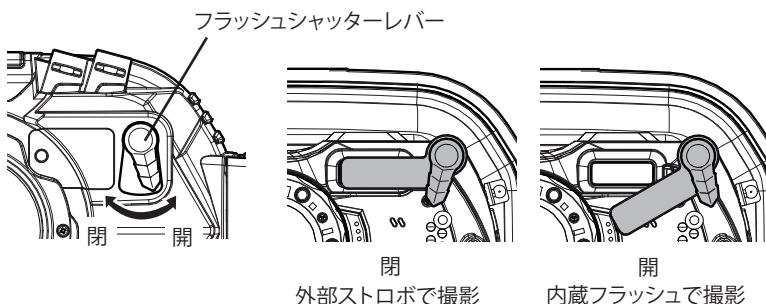


## シャッターレバー

シャッターレバーを押し下げると、6Gカメラのシャッター操作がおこなえます。

## フラッシュシャッターレバー

フラッシュシャッターレバーを操作し、外部ストロボ使用時にカメラのフラッシュ光を遮ります。



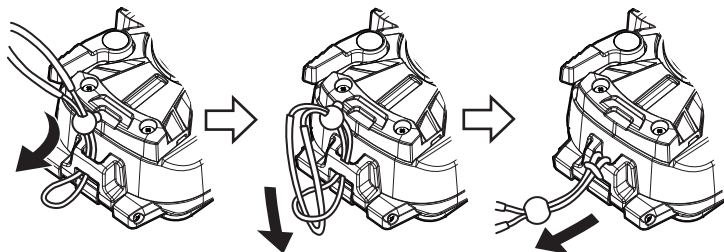
## その他の操作部

各操作ボタンを押すことにより、6Gカメラの各機能を水中で操作できます。詳しい操作方法は6Gカメラの取扱説明書をご覧ください。

## ハンドストラップ

### ハンドストラップの取り付け方

下図のように、ハンドストラップを本製品の前面よりハンドストラップ用フックに差し入れ、輪に緩みがなくなるまで引いてください。



- オプションのアクセサリ（ワイドコンバージョンレンズ・ステー・アーム・ストロボ・ライト等）をご使用の場合は、陸上でハンドストラップを使用しないでください。アクセサリの重みでハンドストラップが破損し、思わぬケガや本製品・アクセサリの破損、紛失などが生じる可能性があります。

## マクロディフューザー

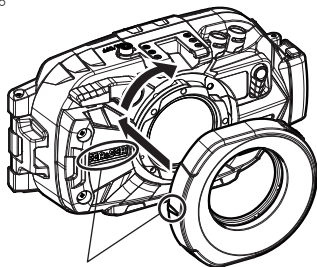
近距離、マクロ撮影時にマクロディフューザーを使用することにより内蔵ストロボのフラッシュ光を拡散し均一に照射することができます。

### ⚠ 注意

- 撮影距離、条件、設定等により内蔵ストロボ光が暗いと感じる場合はマクロディフューザーを取りはずして撮影してください。

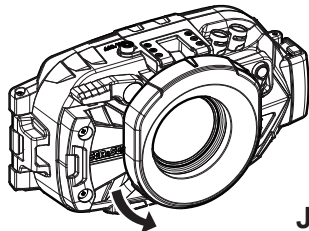
### 取り付け

- 1 本体のSEA&SEAロゴとマクロディフューザーの ▲ マークを合わせてレンズ部にはめる
- 2 マクロディフューザーをクリック感があるまで時計方向にまわす



### 取りはずし

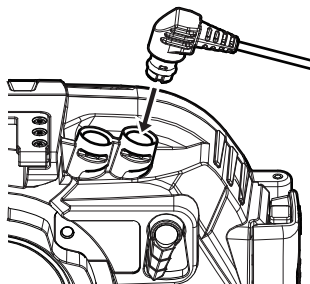
- 1 マクロディフューザーを反時計方向にまわす
- 2 本体のSEA&SEAロゴとマクロディフューザーの ▲ マークが合う位置でマクロディフューザーを手前に引く



## 外部ストロボを使用する

カメラの内蔵フラッシュの発光を利用してストロボを発光させる場合、光ファイバーケーブル(別売)でハウジングとストロボを接続してください。

- 1 コネクターに光ファイバーケーブルを止まるまで差し込む



### 撮影のヒント!

- 外部ストロボを使用して撮影する場合は、ISO感度を125に設定することをおすすめします。
- 6Gカメラは電源をOFFにすると撮影機能の設定値が初期設定に戻ります。設定値を保存したい場合は、カメラのモードメモリ機能を使用してください。

### ⚠ 注意

- 差し込む前に、光ファイバーコネクター部分にキズ・汚れ等のないことを確認してください。キズ・汚れなどが原因で、接続したストロボが正常に発光しない場合があります。
- 光ファイバーコネクター部分のキズ・汚れを防ぐため、光ファイバーケーブルを接続しない場合は、光ファイバーコネクターキャップを取りはずさないでください。
- 水中で光ファイバーケーブル/光ファイバーコネクターキャップがはずれても、浸水の恐れはありません。
- ストロボをハウジングに接続した際は、水中でご使用になる前に、必ずストロボが確実に動作(発光)することを確認してください。

## マクロ照明を使用する

カメラのマクロ照明を使用してマクロ撮影をすることができます。

- ハウジングのレンズにマクロ照明が写り込む場合は、少し望遠側にズームしてください。

## オプションアクセサリーの取り付け

本製品には、オプションの弊社製アクセサリーを容易に取り付けることができます。本製品と各種アクセサリーを組合わせて使用することで、より表現豊かな水中撮影がお楽しみいただけます。

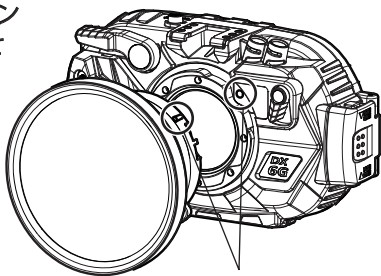
- レンズ・ストロボ・ライトなどアクセサリーの耐圧深度は、製品によって異なります。必ず各種アクセサリーの耐圧深度をご確認の上ご使用ください。
- オプションアクセサリーをご使用の際は、必ず各アクセサリーの取扱説明書をお読みください。

## ワイドコンバージョンレンズ(オプション)

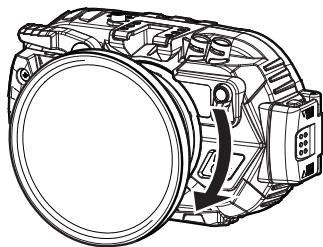
本製品にオプションのSSバヨネット ワイドコンバージョンレンズ / WCL06 (#52152)を取り付けることができます。

### ワイドコンバージョンレンズの取り付け方

- 1 DX-6Gのフラッシュ窓の○部とレンズのバヨネット部の凸部を合わせて、レンズを本製品に押しつける



- 2 レンズをクリック感があるまで、時計方向にまわす



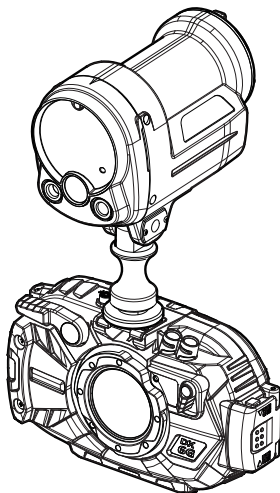
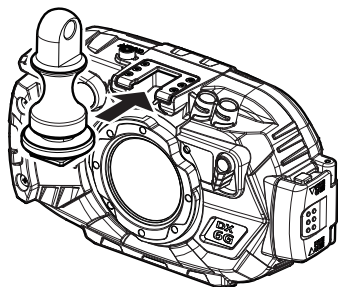
### ⚠ 注意

- レンズをご使用の際は水中で一度取りはずすか、または軽く振り、レンズと本製品の間の空気を抜いてください。
- ワイドコンバージョンレンズを陸上で使用した場合、撮影距離、撮影条件等の影響でピントが合いにくくなる場合があります。

## アクセサリースュー

本製品のアクセサリースューにオプションのSA8 アクセサリースューボールベースII (#22139) もしくはホットシューアーム (#29501) を使用して、弊社製外部ストロボ・ライト等を取り付けることができます。

<取り付け例>



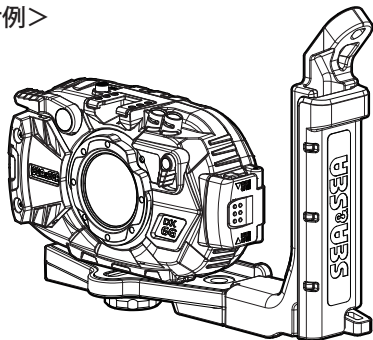
### ⚠ 注意

- アクセサリースューに取り付け可能なアクセサリの重量は750gまでです。
- 陸上での移動時はアクセサリースューからアクセサリを取りはずしてください。

## カメラレイ+グリップ/グリップステーS

本製品の三脚ネジ穴を使用して、カメラレイ+グリップ (#22118)、グリップステーS (#22107) を取り付けることができます。

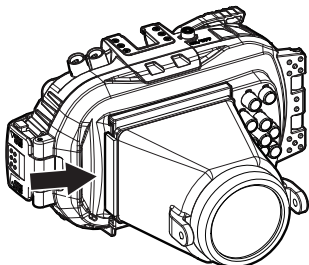
<取り付け例>





## レンズ付遮光フード

本製品の遮光フード取付溝にオプションのレンズ付遮光フード(#52121)を取り付けることができます。



### ⚠ 注意

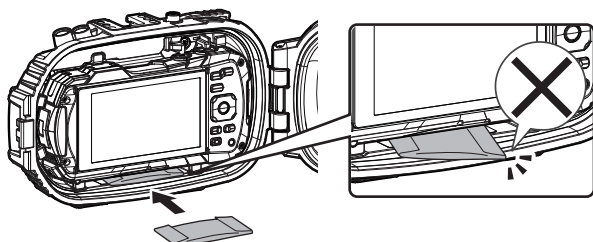
- 遮光フード取付溝に遮光フードを取り付ける際は、必ず遮光フードの取扱説明書をお読みください。

## OZO (乾燥剤)

気温と水温の差が大きい、または長時間の撮影等でカメラが熱を持った場合などに、本製品内部で発生する結露により、本製品のレンズ内側が曇ることがあります。結露を軽減するために、別売りのOZOを下記のようにお使いください。

### OZOの取り付け方

- 1 本製品に6Gカメラをセットする
- 2 本製品の図の場所にOZOを置き、裏蓋を閉じる

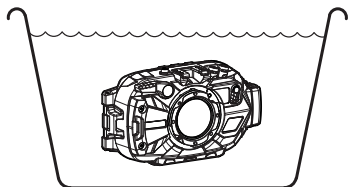


- OZOがOリングの当たり面にはみ出していないことを必ず確認してください。
- 裏蓋を閉じるときは、OZOの挟み込みがないことを必ず確認してください。

## お手入れと保管上のご注意

### ⚠ 注意

- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用になった後は、必ず防水されている状態で、図のように十分に真水につけてから流水で洗ってください。可動部分(レバーやボタンなど)は動かしながら洗ってください。ハウジングを洗うときは、ロックノブを絶対に操作しないでください。
- 十分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因となることもありますので、必ず真水に十分に浸けてください。
- 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
- 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
- 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ご使用になった後は、カメラをハウジングから取り出してください。カメラを取り出すときは、ハウジングの水分をよく拭き取り、水滴が内部に落ちないようにご注意ください。もし内部に水滴が落ちた場合はよく拭き取ってください。
- ご使用になった後は、Oリングのメンテナンスをしてから保管してください。ご使用の前後に必ずOリングの点検をし、早めの交換をおすすめします。
- ご使用の頻度や保管状態によっても異なりますが、製品の性能を維持するために、お買い上げいただいてから2年毎に1回を目安に、オーバーホール(有料)にお出しになることをおすすめします。



# 仕様

- 6Gカメラの仕様は、WG-50カメラの取扱説明書をご覧ください。  
<http://www.ricoh-imaging.com/manuals/>

<b>操作部</b>	シャッターレバー・フラッシュシャッターレバー・電源ボタン・ズームボタン (W/T)・再生ボタン・ドライブモードボタン・フラッシュモードボタン・フォーカスモードボタン・OKボタン・MODEボタン・録画ボタン・MENUボタン・削除ボタン
<b>材質</b>	ボディ:ポリカーボネート樹脂 グリップ:ABS樹脂
<b>耐圧深度</b>	55m
<b>寸法</b>	約165(幅)×93(高さ)×61(奥行) mm
<b>質量</b>	約412g (ハウジングのみ) 約605g (6Gカメラ、バッテリー、SDカード含む)
<b>水中質量</b>	約30g (6Gカメラ、バッテリー、SDカード含む)
<b>付属品</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・マクロディフューザー</li><li>・マクロディフューザー用ストラップ</li><li>・ハンドストラップ</li><li>・充電用電源アダプター</li><li>・充電式リチウムイオンバッテリー</li><li>・マクロスタンド</li><li>・USBケーブル</li><li>・カメラ用ストラップ</li><li>・シリコングリス</li><li>・リングリムーバー</li><li>・DX-6G取扱説明書(本書)</li><li>・リングメンテナンスマニュアル</li><li>・防水についての注意</li><li>・保証書</li></ul>

※本製品の仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# SEA&SEA

---

## シーアンドシー株式会社

〒145-0062 東京都大田区北千束1-4-6  
TEL.03-5701-5533

## カスタマーサービスセンター

TEL.03-6421-1566  
<http://www.seaandsea.co.jp>

## SEA&SEA Co., Ltd.

1-4-6, Kitasenzoku, Ohta-ku,  
Tokyo, Japan 145-0062  
TEL. +81-3-5701-5533  
<http://www.seaandsea.jp>